

うちゅうせん新聞

広報係 '06年7月22日発行 2号

仙台市天文ボランティア会報

梅雨が開ければボランティア活動が多く入って来る時節となります。次号で豊富で満足度の高い報告が載せられるよう、乗組員の皆様のたいなる協力をお願いします。

例会より

4月7日(金) PM7:00~9:00 出席者 15名

新しい年度の最初の例会は、仕事帰りのため、揃うまで時間はかかりましたが最終的には15名参加で年度始めとしては多く、良いスタートでした。乗組員数は継続30名に新人5人そして休会者10名との報告があり、まず4/15の花見、5/27の合宿、その他依頼されている観望会や天文同好会の奥会津(船長の実家)ツアーのお誘いなど話し合われました。'06うちゅうせん新聞1号を、発行し配布しました。後日、総務からの郵送時に全体特集号(議事録)として送付となります。また、天文同好会会報へうちゅうせんから原稿をとの依頼があり、「うちゅうせん新聞号外」として編集し活動紹介を行うことで決定しました。……<この後各係より原稿を頂き5/20発行されました。>各係リーダーも半ば強制的に決まりました(!?)。

ボランティア活動なので、やるのはみんなでやるんですよ! 強力な協力をお願いします。

4月15日(土) PM3:30~4:10 出席者 8名

桜ヶ丘公園は花見のため一切車両は進入禁止。年一番のにぎやかな時期ですが、花がまだで天気がぐずつき集まりが悪かったです。予定時刻を30分以上過ぎてから例会が開始となった次第ですが、行事の確認(主に合宿)を手短に進めたら、短時間で十分例会を終わらせることができました。花見幹事の数名は準備のため例会には出ませんでしたので…参考までに。16年度に取組んだ社々環境プログラムの冊子が完成したとの報告がありました。名簿発送も済み。



5月13日(土) PM3:00~5:00 出席者 8名 参観者 1名

参加者が少なくテーブル二つを囲んで例会が行われました。K氏が東京より戻り再活動開始。観望会巨理、山田4回ずつ。単発を4回行う感覚で取り組む予定です。(但し、再参加者はかなりあると思われる) 観望会依頼は泉環境まつり、芦の口小学校等から来ています。

巨理例会報告。

春の合宿 宿泊8名、日帰り3名の参加の予定。秋合宿はAさんの推薦福島県松原湖のペンション(ドーム付き)早めに予約を入れたので動き始めたいということで参加者に賛同を得ました。伝達媒体のホームページなどに、顔が分かるものは使って欲しくないとの要望があり検討をしていくことになりました。

天文台のうちゅうせん担当の方が変わりました。

6月2日(金) PM7:00~8:30 出席者 9名

金曜日の例会の出席者が少なく、メンバーも固定化されてしまっているため、例会の設定を見直すべきではないか、という議題が提起されました。土曜日は都合が悪い人のために金曜日の例会を設定したのがそもそものきっかけでしたが、土曜日に来れなくて金曜日に来る人は現在いません。今後も検討することになりました。

6月17日(土) PM3:00~5:00

出席者: 8名で始まり、終了時12名に増えていました。

今回も例会の実施回数について話し合いがありました。観望会7,8月たくさん入っています。是非例会にも参加して各観望会のエッセンスを嗅いで観望会に参加してみてください。(7/5 利府西 7/14 松島自然の家 7/15 泉環境まつり 7/23 南蔵王青少年旅行村 7/29 巨理図書館 8/5 巨理小 8/19 山田市民センター 9/15 芦の口小他)

6/26(月)NHK 放送からうちゅうせんへの出演依頼。生放送のサークル紹介番組です。録画してでも見てください。(新聞発行時には放映は終わっていますが・・・)

月についてのパワーポイント(スライド風)作品作ります。5分位の解説も付けたいので、ナレーション部分のアイデア(原稿)募集します。

合宿について、当初石川町フェステと重なり参加者が少ないようなので、10/14,15日に日程変更となりました。伝言板やメーリングリストMLで連絡します。チェックお忘れなく。



観望会より



巨理町図書館・観望会 4月28日(金) 参加者

100名、うちゅうせん3名+天文台職員2名(天文台と合同実施) PM6:30~8:30

4回中の第1回目が素晴らしいお天気の前、盛大の内に無事終了しました。

到着後、参加予定人数を確認したところ、追加の申し込みも有ったとの事で全員お出でになれば110名との事、久々の大人数です。

ベガ号導入前に観望会に使われていたと言う「三鷹製20cm鏡」をはじめ、タカハシ102・シュワルツ120・ペンタックス75・ビクセン80と、さながら望遠鏡の展示会?

5台で、土星やすばる・ミザールとアルコール、後半は昇って来た木星等を見て貰いましたが人数が人数ですからどの望遠鏡も長蛇の列でした。子供たちもですが、お母さん・お父さん方が大層喜んでおられたのが印象に残りました。

今夜は晴れたけど残り3回、全部晴れたら奇跡です・って言ったら、お天気祭りをしますから多分晴れます! との事でした。

20:00 終了予定のはずが、若干延長となり、天文台に戻ったときは10時前になっていました。参加された方遅くまでお疲れ様でした。天文台から参加のお二人に御礼申し上げます。

山田市民センター観望会(春の宵編) 5月20日(土) 参加者 10名、うちゅうせん 5名 PM6:00~8:05

1年間に4回シリーズで行う市民センター企画の1回目。天候に恵まれず、今回の参加は大人の女性中心でいつもとはちょっと趣の違う曇天バージョンでした。参加人数で手を抜くことなく次回8月の晴天と大勢の参加に期待をかけより丁寧に話しました。そして参加者からは孫を連れて来れば良かったとの声も!

ぴろりんの「今月の星空と春夏の星座説明」の後、西口さんによる、星座物語のスライド、北斗と南斗の仙人の話とオリオンとさそりの2話(次回、曇天の場合は別の物語にしましょう。)そして太陽系惑星の説明を最後に行いました。

係からのお知らせ

会計より

周知のことようですが、New乗組員もいらっしやいますのであらためて記載いたします。



観望会参加について

交通費

25km以上40km未満 500円を補助します。

40km以上 1000円を補助します。

起点は天文台になります。

高速代

領収書を頂ければ全額支払います。(領収書忘れないでね(^o^)) 但しその場合は交通費は出ませんよ。

ETC利用の場合は自己申告でも可ということが昨年度の総会で決定確認しました。

片道のみ利用したという場合は、使用した高速代と、高速を利用してない片道分ということで、交通費は半額を補助しています。



夕食代補助について

主催者側から夕食(あるいはそれに準ずる物)が、提供されなかったとき、500円を補助します。

事前打合せについて

1回につき一律500円を補助します。

以上は観望会のリーダーからの報告に従って支払っております。もし「私、もらってないよ~」という方がいらっしやいましたら、ご連絡ください。



レク等の補助について

お花見や芋煮会などの行事に対して一人あたり上限300円で補助を出すことができます。

参加者の自己負担金500円を原則とし、それ以上かかった額を補助します。ただし、飲食店を利用した場合は出ません。その他

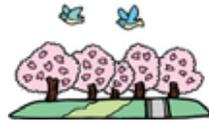
通信費、消耗品費、印刷費などは随時支払っております。

(領収書忘れないでね(^o^))

「これは出してもらえるのかな~」なんて迷う時は、定例会にかけていただければよいかなと思います。また、「こんなものがほしい」「これがあると便利!」などのものも、ぜひ定例会にかけてください。

最後になりますが、「うちゅうせん」の財産は、観望会を開いた方、参加した方のお気持ち(謝礼)によって成り立っておりますため、当然限りがあります。そのため必ずお支払いできると確約はできませんのでお含みおきください。これからも、ともに星を愛する人々へと還元していくことができるよう有効に使って行けたらと思っています。そろばん(もちろん電卓も)がとても苦手な不安いっぱい金庫番ですから、乗組員全員が監査官のお気持ちで厳しく見守っていただけたら・・・と思います。これからもどうぞよろしくお願いたします。(近藤)

花見より 4月15日(土) 16:30 から 18:30 参加 13名
 仙台市の桜開花宣言から 2 日後まだつぼみの西公園でうちゅうせんの花見が行われました。曇天で風も冷たいこの日は例会から出足が鈍く近年で最も少人数の花見でした。花は? といえば離れた場所の梅の花が満開な程度で、皆さんも寒さに耐えていました。でも、学生パワーはすさまじく、天文台正面に陣取ってのいつものお祭り騒ぎでした。うちゅうせんは神社裏のいつもの場所で大人の(物静かな)花見でした。・・酒飲みが不在の為暖かい鍋、スープを準備していただいた吉田さん、近藤さん最高のご馳走でした。皆さんお疲れさまでした。(西公園の今年の満開は4/20 過ぎでした。)



春の合宿より 5月27,28日(土,日) やくらいコテージ(加美郡加美町(旧小野田町))
 参加者: 宿泊6名、日帰り5名
 27日: 17時頃より次の日の自炊用の朝食を買いに3人でふもとまで。18:30、頃参加者全員が揃い、夕食のレストラン「ぶな林」(地ビール館)地ビールを飲みながらの食事は飲めない人が気の毒な位でした。味は良いのですがもう少し量があったらと思いました。天気には恵まれず 19:30 からミーティングと研修を。土佐先生のスライドとお話は「太陽の一生・進化等」でした。コテージに着いた頃から雨が降り出しました。
 28日: 自炊で朝食作りです。パン食で、ハムエッグ等。船長がスクランブルエッグを作ってくれました。やくらい薬師の湯に入浴してから帰りました。



今年の春合宿は朝天気良かったものの、合宿が始まる夕方から崩れだし、夜には大雨になるといったあいにくの天候でした。コテージを借り切って気兼ねなく天文談議といったところですが、やはり星を見れなかったのが残念。特に、日帰り参加者は真っ暗な雨中でドライブ大変だったことでしょう。お疲れ様でした。



2006 年例会予定

月	曜時	金曜日	土曜日
		午後7時	午後3時
8月		4日	19日
9月		1日	30日(合宿)
10月		6日	21日(芋煮)
11月		3日(祝日)	18日
12月		1日	16日
1月		5日	20日
2月		2日	17日
3月		2日	17日

全体会(総会)



9月の星空

月: 8/9 部分月食。未明西の空で小さな部分月食
 水星: 8/31 外合でその後夕方の東天に来る
 金星: 明けの明星として、明け方の東天に
 火星: 9/30 地球から最も遠くへ離れた状態で見えない
 木星: 9/28 に月や水星、火星と並んで西天低く見える
 土星: 夜明け前の東天低く金星と並んでいる

うちゅう豆知識

夜はなぜ暗いか

この疑問は、オルバースのパラドックスと呼ばれ「もし、宇宙が無限に広がって、星も無限にあるとしたら、夜空を見上げた時、どの方向にも星が存在し、空は星で埋め尽くされて光り輝いているはずだ。つまり、夜は暗くないはずだ。でも実際には夜は暗い。なぜだろう」という風に書かれています。このパラドックスに対する簡単な説明は「宇宙は無限に昔からあった訳ではないし、光の速度も有限だから、私たちは無限の星を見ている訳ではない」となります。
 オルバースのパラドックスの答えだという訳ではありませんが、この宇宙は暗黒物質(ダークマター)で満ちているという話があります。空を見て光っている天体の多くは星やその集団の銀河です。星のまわりのガスが光っている星などがあります。しかし、その量を調べてみると、実際に宇宙に存在する物質の量よりはるかに少ないのです。光っていない物質の量はどのように測れるのでしょうか。実は重力を使うのです。重力は万有引力ともいい(光ってはいようがいまいが)すべての物質に作用します。そこで、光っている物体の運動を調べれば、その周りの重力、つまりそのあたりにどの程度の重力源があるかがわかります。そのように調べると、ダークマターの量は星などの見える天体の総和の10倍以上もあることがわかったのです。この宇宙には、私たちに見えない物質が90%以上もあることになるのです。(右図参照)

8月の星空

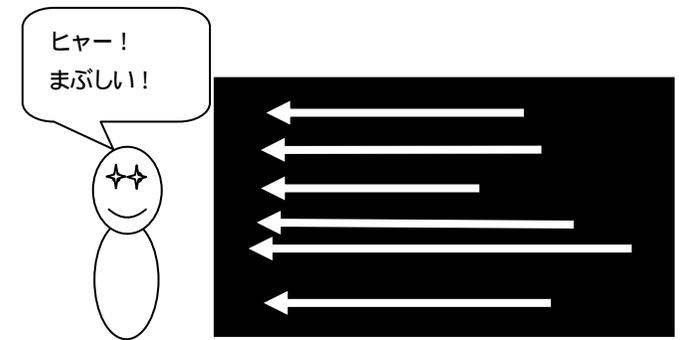
下旬夜明け前の東天でペルセペ星団、月、金星、土星、水星と並び賑やかです。
 12,13日ペルセウス座流星群極大
 水星: 8/7 西方最大離隔で明け方の東天
 金星: 明けの明星として明け方の東天に
 火星: 19時過ぎに西へ沈み見えない
 木星: てんびん座の肉眼2重星に接近する
 土星: 8/8 太陽の向こうの外合。見えない

10月の星空

月: 10/6 満月の一日前が中秋の名月
 水星: 10/17 東方最大離隔で夕方西天に見える
 金星: 10/26 外合、以後夕方の西天に移る
 火星: 10/24 に合。太陽の向こうで見えない
 木星: 太陽に近く観測できない
 土星: 夜明け前の東の空に見え始める
 流星群: 8日にジャコビニ流星群、21日にオリオン流星群が極大

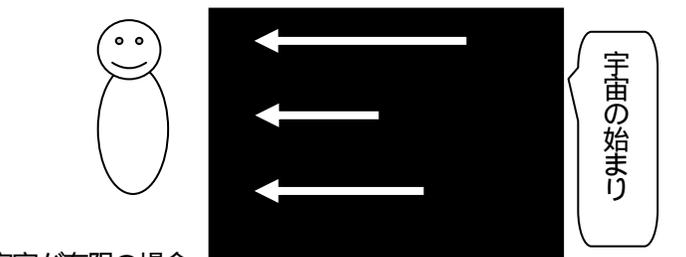
宇宙まめ知識・図解「宇宙はなぜ暗いの?」

もし宇宙が無限で、星が無数の過去から光り始めていたら...



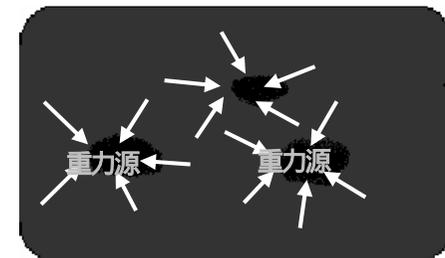
宇宙が無数の場合

しかし、星は「ある時間」から光り始めたから



宇宙が有限の場合

今の地球に届く光は限られている



9割が「見えない未知の物質」らしい

編集後記

5/20 天文同好会会報にうちゅうせん紹介記事を載せました。もちろん両方参加の人も多いですが、合宿、星まつりなどそれぞれの特技を生かしながら助け合って活動を盛り上げていくことは新たなアイデアも生まれお互いにプラスになるのではないのでしょうか。(辺) 観望会がたくさん入って良かったです。観望会に参加してくれている乗組員の方々の努力が積み重なっているのだと思います。天気の難しい季節ですが晴天に恵まれる事を祈ってます。月スライド?早くできるのを楽しみにしてます。(中) 花見で使ったブルーシートを引き取ったのですが、大き過ぎて一人で洗う事ができず、そのまま倉庫へ持って来てしまいました。後始末をよく考えるべきでした。(今)